



吹田だより

平成 23 年 7 月 25 日

ニューズレター

大阪府高齢者大学

=第 10 号=

発行 同窓会吹田

暑中お見舞い申し上げます

早い梅雨入りが早く明け夏本番。猛暑、酷暑を吹っ飛ばしてくれましたのが **なでしこジャパン**。サッカーワールドカップで奇跡の優勝。その爽やかなプレーが日本中に笑顔をもたらしてくれました。大型台風6号が接近する早朝、TV を見ました・・・大震災、原発で苦しめられている日本にとってこれ以上の贈り物はないのでは・・・撫子の花言葉に「大胆」「勇敢」「器用」「野心」、ネーミングの妙に感心。勝利の翌朝には金メダルを首に帰国、報道番組にくぎ付けで、この原稿も遅れる始末。

今回、高齢者大学校と同窓会共同の機関誌「**れいんぼー絆**」創刊号を同封しました。同窓会活動の状況を受講生、高大関係者へお知らせし理解を深めていただくことを願ってのもので、年 4 回の発行を予定しています。高大では 7 月中旬に受講生に配布され、早速、吹田在住の方から、同窓会吹田へ入会の問い合わせの電話がありました。

ニューズレターをお届けすれば事務局は、年度後半の活動シーズンに備えて夏休みとさせていただきます。軽い運動と十分な水分補給、熱中症対策を万全にして、秋をお迎え下さい。

(会長 梅本泰正)

事務局からの報告

同窓会吹田役員会及び連協、高齢者大学校の情報を掲載。

同窓会吹田 6 月役員会 [6/27]、7 月運営委員会 [7/11]、連協理事会[7/6]

連協

高大との共同機関誌の創刊 高大と同窓会との連携を深めることを目的として共同機関誌を発行することとなり、創刊号が 7/11 に出来あがり、高大受講生、高大関係者へ配布されました。同窓会は、15 地域同窓会による連協と南部同窓会、SA 連協、フェスト会が足並みを揃えて参画し、創刊号は同窓会会員へも配布されます。

尚、「連協 絆」は裏表一枚ものとし、共同機関誌に挟み込んで配布します。

23 年度高大受講者情報 連協提供のデータでは、吹田在住の受講者は計 115 人、本科 72 人(内既同窓会員 22 人)、実践研究科 43 人(同 28 人)で、未加入 65 人の方へお誘いを進める。

23 年度文化祭 前回とほぼ同内容で 2/20,21 の二日間メシアターで開催する。第一回の実行委員会は 9/21 (水) 午前 9 時～12 時メシアター会議室にて開催。吹田からは実行委員三名を選出する。

教養講座 第一回は、鉄道史研究家・羽森先生の講演を 6/16 に開催、参加者は 170 人(吹田 23 人)。第二回は 9/28、メシアターにて若手落語家桂福丸の講演と落語、第三回は 12/8、高槻市生涯学習センターにて防災学の権威、河田恵昭関西大学教授の講演、第四回は 2/20 文化祭初日に、日本笑い学会会長の森下伸也関西大学教授の講演を予定。

同窓会吹田

東日本大震災関係 吹田市に一時避難されている方の内 21 人を招いての懇親会を、市と「吹田市復興支援市民会議」が 7/3 に開催。被災者が顔を合わせる機会がなく、参加者には喜んでいただきました。市民会議は市内のボランティアグループ有志で発足、同窓会吹田もメンバー。

市民公益活動拠点施設 吹田市が建設を進めている南千里駅前公共公益施設は平成 24 年 6 月に竣工の予定で、その数ヶ月後に市民活動拠点施設が開設される。その利用についてのアンケート調査が登録 216 団体を対象に実施され、同窓会吹田として積極的に活用する内容で回答する。但し、会議室や印刷機など利用料を勘案して対応していく必要があります。

「吹田ご案内」の開催計画 9/28 にメイシアターで連協教養講座が開催されるのを機に、他地区同窓会の皆さんをご案内…浜屋敷、西尾邸、アサヒビール…して吹田を知っていただくとの企画を進める。

演芸会 吹田として初めての演芸会、朗読・落語・腹話術など「話芸大会」を、11 月にメイシアター小ホールで開催する計画。

パソコンクラブ 5 月にスタートしましたが、お隣の同窓会東淀川から立ち上げ協力要請があり、7/14 の例会の見学会を開催、15 人が参加され、今後、共同運営を検討することとなりました。

新企画「先輩お元気ですか」 新年度の名簿発行に際して、修了期別の会員数を調べたところ、修了後 20 年以上(13 期以前)の方が 6 名、15 年以上(14~18 期)が 24 名おられます。大先輩方をお訪ねして、ご健在の様子を吹田だよりに「先輩お元気ですか」として掲載させていただく企画を進めます。

同好会に新加入 平成 18 年老大の夏期講座がきっかけで結成され、その後、月二回のレッスンをメイシアターで行っている「ゴスペル 18」から、同好会登録の申請があり、6 月役員会で承認しました。

万博ゴミゼロウォーク 第 10 回の大会が 11 月 5 日(土)に開催されます。地区小集会を兼ねての参加を含め、例年通り、20 人 1 チームを予定。昨年は 15 人が参加、福引で自転車が二人に大当たりしました。

行事实施報告

第二回社会見学会

7 月 15 日(金)に、参加者 28 名で開催。午前は、大阪市立塩楽荘でグランドゴルフ、午後は日本玩具博物館とヤマサ蒲鉾の工場見学と盛沢山の内容で、姫路方面へバスで出かけました。

その模様は、昨年、体調を崩され一年休会、今年は元気に復帰された前副会長の小川雅由さん(6 区)にレポートをお願い、詳細な一文を寄せていただきました。ご本人は遠慮されて名は伏せておられますが、5 人のホールインワン達成者のお一人で、健在ぶりを発揮されました。

博物館から蒲鉾工場へは、大型バスの通行が無理との情報で出かけたのですが、博物館見学中に、館長さんが現地を見るのが一番と、バスの運転手さんをマイカーに乗せ調査の結果は OK、20 分以上の時間短縮です。館長さんの親切に感謝です。

尚、グランドゴルフのスコアは最終頁に、お名前はイニシャルで掲載しました。

灼熱のような猛暑が続く日々、世間では節電対策や子供達又高齢者の「熱中症」コールが喧しく聞えて来る中、私達高大吹田同窓会の元気仲間の研修会が開催されました。

7月15日(金)日帰りバスツアーで西播磨方面の塩田温泉郷(塩楽荘)でのグランドゴルフ、日本玩具博物館やヤマサ蒲鉾本社工場(夢鮮館)見物が目的で、参加者は28名と真夏の行事のせいかな僅かの欠席もあったようですが、参加された全員は特にグランドゴルフの愛好者とあってか出発前からやる気満々、暑さも何処かへ遠慮した感じでした。

バスは阪急山田駅前を午前8時半、大阪HATOバス影山運転手の安全運転宣言で一路中国自動車道福崎ICに向かって定刻に出発。途中宝塚近郊で早々と渋滞、その間を利用して、本日のリーダー梅本会長から懇切丁寧な車中レクチャーがあり特にグランドゴルフのルール説明は初めて参加する方には(グランドゴルフとパークゴルフの違いなど)大変参考になった次第。

①グランドゴルフ

到着予定10時を約30分ほど遅れて現地到着。やって来ました姫路市夢前町塩田の塩楽荘(シラクワ)は福崎ICより西へ約20分位の所で、清流ゆめさき川のほとり緑の木陰に大阪市立保養センターとして湯の里がある。ここには16ホールの本格的グランドゴルフ場が我々の到着遅しとお待ち御座った。メンバーは早速6チーム2コース(さくら、もみじコース)に分かれ、いざ勝負。

15,25,30,50メートルの本格コースの緑の芝の上でボールを叩く醍醐味は又格別、流れる汗を拭いながらも皆ゲームにすっかり夢中と相成った。1時間半の真昼の決闘に勝負をつけ、お楽しみ昼食会の席上、掻い摘んだ成績発表がありました。本日のハイライトはホールインワン5人が達成。中でも江副さんおしどり夫婦で仲良く達成は記録もの、もう1人女性でMさん、最後のホールで決めたベテランSさん、初心者マダレで恥ずかしOさんなど、ベストスコア42のYさんや、67エージシュート達成?した誰かさん。

わいわい騒いで13時次なる目的地へと出発しました。

②日本玩具博物館

姫路市香寺町13時半到着。世界文化遺産姫路城(現在修復中)北北東の緑ゆたかな田園の中に白壁土蔵づくりの6棟の館、ひっそりと建つ建物を案内して貰ってやつと気がつく静かな佇まいである。

まずは初代井上館長さんから15分ほど1974年設立された博物館の歩みについて、熱心な説明を受けた。S38年(1963年)当時失われ行く日本の郷土玩具や文化に発奮され私財を投げ打って自宅を提供し小さな「展示館」からスタートされたとか。最初は3000ヶ余りのコレクションが今では8万~9万点に及ぶ収集品を貯蔵し四季折々の展示で大人も子供も皆んな楽しませて居られます。

兎に角見事なもので1998年には文科省の博物館相当施設として認定されたとか・・・「日本一」やで。

③ヤマサ蒲鉾本社工場(夢鮮館)

姫路市夢前町。博物館から西へ暮坂峠を越え(大型バスがギリギリOK)山道を約30分位走る。遠くから工場の屋上に、ばかでっかく真っ赤な魚が見えてござる。ここに蒲鉾では有名な本舗ヤマサ3工場がある。時間の関係上詳しい説明は省略し、第1工場内部を見学通路より拝見。さすが食品製造工場らしく沢山の混練機や焼成炉冷却炉が整然と並んで居る。一日12万本の竹輪製造能力とか。よく食べるナーと感心するのみ。最後はお決まり夢鮮館でのお買い物。皆さん16種の試食を頼張り満腹感に満足し揚げたて蒲鉾の土産もどっさり買わされました。

16時、バスは本日の予定を無事消化し姫路城を横に見て山陽自動車道から中国自動車道へと帰路につく。途中の渋滞もさほど気に掛けず楽しい一日の思い出を載せて18時過ぎ吹田到着。

今回の企画で御世話になった梅本会長、道具を貸して貰ったグランドゴルフ与那城リーダー、世話役幹事の皆様有り難う御座いました。

又次回宜しく御願います。

謝々

東日本大震災で蘇る半世紀の思い出

27期 深井 保

私たち高齢者は太平洋戦争と戦後の混乱期を知っている人が多い。恐らく東日本大震災による被災地の惨状と、戦火の爪痕とが重なって混乱の時代を思い起こした人が多いのではないだろうか？ 大阪のど真ん中で生まれ育った知人が、焼け野原になった大阪を知っていて「大丈夫、日本は大震災から必ず復興出来るよ！」と力強く言っていた。

戦後は物資が極端に欠乏した状態だった。都会に住む人達たちは配給では足りない物資を買うために家財を売ったり、都市近郊の農家に出かけて高価な着物と引き換えに米などの食料品を手に入れるという状況だった。

私たちの小学校時代は、戦争は終わったものの社会の混乱は大変ひどいものだった。生活物資は申すに及ばず、子供たちの教科書、ノート、鉛筆までも不足し、ズック靴、学生服まで配給だった。

やがて世の中は少しずつ落ち着きを取り戻し、中学時代になるとようやく物資が出回り始め、本なども出回るようになった。子供たちは自分たちで遊びを捜してよく遊んだ。中でも野球の流行は目覚しく、学校の校庭や、寺の境内などに集まって野球をした。大人からの指導などはなく、子供たちだけで勝手に工夫して楽しんだ。当時の家族には3～4人の子供がいるのが普通で、今日のように親がいちいち子供の遊びの世話まで出来なかったのである。

高校時代になると朝鮮戦争の特需景気が始まり、日本の経済は驚くほど早く回復して行った。教科書、参考書などは充実し、大都市では大学進学のための予備校が出来始めた。衣服はようやく好みのものが購入出来るようになったものの、家電製品は、白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫

などがやっと世の中にちらほらと出始めた時代で、一般家庭への普及はまだまだ後のことだった。当時は大学へ進学するよりも、高校を卒業してすぐ就職する人の方が多かった。しかし就職先が少なく、就職難が大きな社会問題になっていた。

大学時代になると、いよいよ日本は高度成長期に入り、戦後の復興は終わって豊かな日本への発展へと変わって行った。学生も季節ごとの休暇に旅行を楽しむことが出来るようになり、合コンとかダンスパーティーなど青春を謳歌出来る時代となった。当時国立大学の月謝は月600円と安く、そのため国立大学の入学試験は熾烈を極めた。

我々が就職する時代は高度成長期の真っただ中、就職難より一転して求人難へと変わって行った。特に工学部の学生は引っ張りだこで、一流企業でも面接だけで採用するケースが多くなった。当時、東レ株式会社の初任給が月2万円で一番高く、学生の人気は高かった。

日本は東京オリンピックで高度成長を牽引し、続いて大阪万博で高度成長の頂点に達した。その後、海外展開、バブルの到来、バブルの崩壊、リーマンショック、と大きな経済の節目を経て、国難とも言われる東日本大震災後の混乱期を迎えたのである。

東電の福島原発は収束の目処も立たない。脱原発、卒原発など目前のことだけに腐心する人が増えた。“エネルギーは産業のコメ”である。何とか誰もが納得するエネルギー政策の長期ビジョンを立ててもらいたい。

我々高齢者は成人して早や半世紀。かつて高度成長を支えた企業戦士も今や社会のお荷物。

残る人生を、自身の健康維持に努め、趣味を生
東日本大震災に絡んで、福島県で生まれ育ち
東北大学出身の友人を思い出した。この友人は
ユニークな発想の持ち主で人気が高かった。震災後彼からは連絡はないが“何の知らせもないのは良い知らせ”とばかり、こちらからも安否の問い合わせなどしていない。

彼はバブル期の直前に、関東の工業団地にある子会社に工場長として転任した。彼の赴任早々の仕事は生粋のエンジニアにも拘らず、工場で働く作業員の確保であった。当時日本は空前の好景気で求人は困難を極めた。彼は可能性のありそうな高等学校を訪ね就職指導教官に求人をお願いして回った。その中である男子高校の先生は小柄ながら背筋の通った古武士のような風格で寡黙ながら、彼の相談によく乗ってくれた。何回かお会いしているうちに、この先生は俳句の造詣ぞうけいが深いことを知り、彼は先生とより親しくなるため、付け焼刃で俳句の勉強をした。

あるとき何かの都合で先生の自宅をお伺いした。その時紹介された句が、

『寒すずめ向かい風には頭を上げ』

『湯豆腐に載せへなへなと削り節』

奥様の説明では“寒すずめ”は詠者即ち先生ご自身の投影でもあるという。寒すずめに先生の小柄で寡黙な古武士のような風貌がすぐに浮かんだ。湯豆腐の句では、さすがに「削り節が先生ですか？」と聞き質すことは出来なかったが、先生ご自身は削り節と自分を重ね合わせていたのだろうと推察した。

彼はこのようなことを教えて頂いた途端に、芭蕉の俳句にこの考え方を適用したらどうなるだろう？ と思い付き、早速家に帰って以下のような解釈を試みた。

『古池や蛙飛び込む水の音』

かして楽しく過ごしたい。

つまり古池は芭蕉以前の俳諧の世界である。蛙は芭蕉自身であり、飛び込むは古い俳諧の改革の意思を持って飛び込むことを意味している。その結果、あたりの静寂を破る大きな音がしたのであろうし、芭蕉自身もあえて大きな音を立てることを意図したのである。

『閑かさや岩にしみ入るせみの声』

古い俳句を守る地方の俳諧の愛好家を岩の静かさとして、芭蕉の指導が固い岩盤を浸透する様子に満足して詠んだもの。

彼の解釈を聞いて、芭蕉の句にはこんな奥深いところがあったのか？ と感心した。単に“蛙が池に飛び込む音を聞いた”というだけなら、恐らく芭蕉の代表作とはならなかったと思われる。

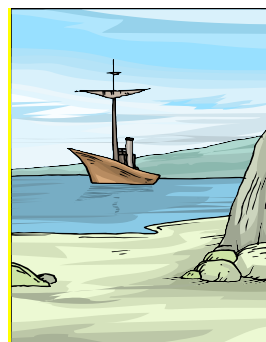
私もかつてアルバムに張った写真の説明に、和歌をもじって書き添えたことを思い出した。

『つぶらなる瞳は燃えて誰を待つ

一人たたずむ思い出の丘』

『宵せまり岬の遠く潮騒しおさい
優しく聞こゆ君の呼び声』

もし被災地の人が上記の小文を読んだら、「何で今時俳句談義だ！ もっと被災地の復興について考えて欲しい」と、腹立たしく思われること



と思う。しかし我々高齢者はもはやその任ではない。今後の復興は、戦後に生まれ、贅沢に慣れ、脆弱に育ってしまった人達と、そして苦勞を知らない人達が育て、あまやかした子供たちが被災地を復興し、これからの日本を支えて行かなければならない。果たして日本は復興出来るのか、やはり不安な想いにかられる。(終わり)

【参考データ】7月社会見学会 グランドゴルフ成績表【7/15 塩楽荘コース】

区	氏名	桜	紅葉	計	賞	区	氏名	桜	紅葉	計	賞
1区	H.M	21	24	45		8区	Y.H	20	22	42	
2区	Y.Y	29	22	51		11区	K.K	34	28	62	
4区	O.M	30	23	53			M.T	30	23	53	
	I.N	23	37	60			U.Y	26	23	49	
	U.T	28	34	62		12区	S.J	24	21	45	☆
	E.Y	20	27	47	☆	13区	M.K	23	30	53	☆
	E.A	21	26	47	☆		I.T	35	28	63	
	I.Y	31	34	65			T.T	30	27	57	
5区	H.Y	22	25	47			M.M	27	30	57	
	Y.K	23	21	44		15区	S.H	29	25	54	
	Y.T	29	31	60		19区	U.Y	22	22	44	
6区	M.Y	31	27	58		20区	N.H	24	28	52	
	O.M	22	26	48	☆	特区	Y.K	28	26	54	
7区	Y.S	28	28	56							

さくらコース、もみじコース各8Hを1ラウンドプレー。賞はホールインワンのみ。打数による順位は対象とせず。

パークゴルフ部

速報

7月度定期大会の結果

◇7月22日 開催		グロス	ハンディ	ネット
優勝	前田 恭厚 (6区)	84	36	48
準優勝	吉竹 君子 (5区)	74	15	59
3位	神保 隆之 (6区)	78	19	59
B・B	山尾智恵子 (特区)	79	8	71

(吉竹さん、神保さんは同ネットですが、「ロウハンディが上位」の規定により吉竹さんが2位) 21名参加



◇お知らせ

○ 次回開催日は、8月26日(金)9時スタート予定

夏場のため、時間を切り上げて行います。

なお、例会終了後懇親会を行います。送迎バスで会場まで移動。

- ◇ 場所 がんこ豊中店(豊中市桜の町7-10-3)
- ◇ 会費 ¥2,500(ただし乾杯以後の飲み物代は各自負担)

○ 9月例会開催日は、9月29日(木)10時スタート予定